

エコアクション21 環境経営レポート

第 6 版



UKI HOSOU

対象期間 2023年 9月 1日～2024年 8月31日

発行日 2024年12月 1日



©2010 熊本県くまモン



熊本県SDGs登録事業者

宇城舗装 株式会社



目 次

1) 組織の概要	1
2) 環境経営方針	2
3) 第 6 版	3
4) 中期環境経営目標	4
5) 環境経営目標と実績 2023年度	5
6) 環境経営計画と実施状況	6
7) 実績の評価と次年度の取組	7
8) 環境関連法規等の遵守状況確認及び違反・訴訟の有無	8
9) 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	9
10) 環境教育実施状況	10
11) 環境活動取組状況	11

1) 組織の概要

- 1) 事業者名 宇城舗装 株式会社
- 2) 代表者名 代表取締役 吉田 卓也
- 3) 所在地 第 6 版 〒 8 6 9 - 0 5 1 1
熊本県宇城市松橋町曲野 8 2 5 - 1
- 4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 専 務 小桝 秀史
環境担当者 総務部 西島 和美
T E L 0964-33-1010
F A X 0964-33-1011
e-mail ukihosou@gamma.ocn.ne.jp
- 5) 事業内容
① 特定建設業 土木工事業、舗装工事業、とび・土木工事業、水道施設工事業
(熊本県知事許可) 第8401号 有効期限 令和8年5月20日
② 舗装用合材の販売
③ 産業廃棄物収集運搬業 (自社工事分取り扱い・下請工事含む)
(熊本県知事許可) 第 0 4 3 0 0 2 0 3 1 9 4 号 (がれき類)
(積替え保管無し) 有効期限 令和10年8月23日
- 6) 事業規模
① 会社創立 昭和 5 3 年 (1 9 7 8 年) 8 月 2 6 日
② 資本金 4 0 0 0 万円
③ 事業年度 2023年 9月 1日～2024年 8月31日
④ 売上高(税抜き) 完成工事 2 9 0 2 9 万円 2024年8月
合材売上 9 7 7 万円 2024年8月
⑤ 従業員数 1 9 名
⑥ 延べ床面積 事務所 131.82㎡ 倉庫 134.35㎡
⑦ 所有設備 建設機械：アスファルトフィニッシャー、グレーダー、
マカダムローラー、タイヤローラー、バック
ホー11台、ホイールローダー、スィーパー
太陽光発電設備 (売電専用)
⑧ 収集運搬用車両 3 t ダンプ 2 台、8 t ダンプ 1 台
- 7) 対象範囲 全組織 土木工、とび・土工、舗装工事業、舗装用合材の販売

2) 環境経営方針

《企業行動 5 つの誓い》

- | | |
|------|------------------------|
| 法令順守 | その行為は法律に違反していないか |
| 企業理念 | その行為は企業理念や倫理に違反していないか |
| 社会常識 | その行為は社会の常識か |
| 社会の目 | 第 6 版 |
| 自分の心 | その行為は間違いないか、自分の心に問いかける |

《環境経営理念》

当社は、創業以来一つ一つ丁寧に実績を積み上げてきた会社であります。本業である建設工事の事業活動を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動を推進するために、社員一丸となって地域社会に貢献しながら継続的に改善活動に取り組んでまいります。

《環境保全への行動指針》

1. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制に努め、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 清潔な作業環境に努め、顧客・利用者の信頼を築きます。
6. 環境に配慮した工事を施工します。
7. 環境関連法規制や当社が約束 2023年 9月 1日～2024年 8月31日
8. 建設技術力を強化します。 2024年12月 1日
9. 環境経営方針は、全従業員に周知します。

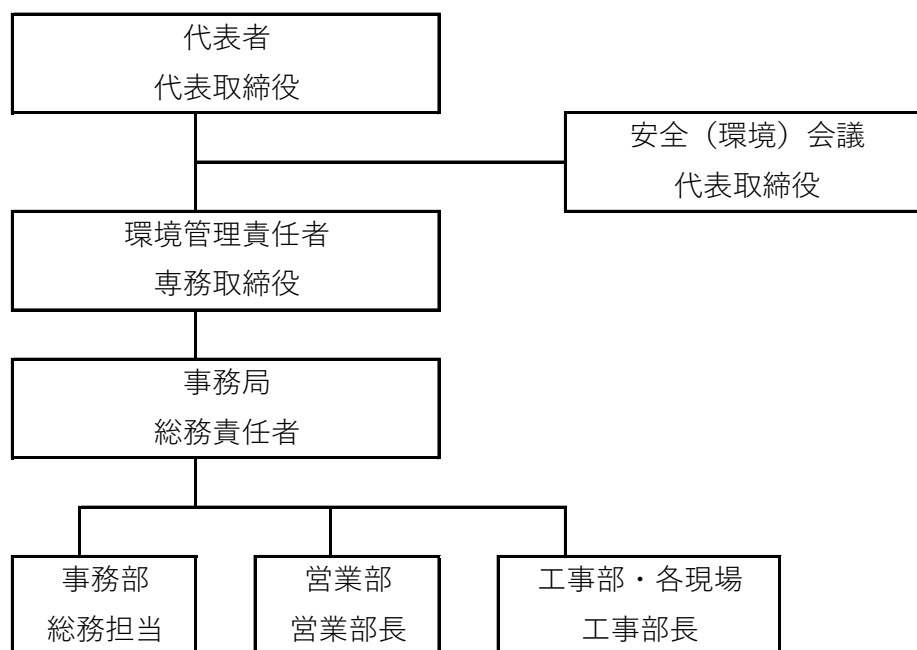
制定： 2019年 11月 1日

改定： 2021年 8月 31日

宇城舗装株式会社

代表取締役 吉田卓也

3) 実施体制図



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・実施体制の構築 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知徹底 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等を準備
安全（環境）会議	・安全／環境についての打合せ
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標・環境経営計画書を策定 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守評価の実施 2023年 9月 1日～2024年 8月31日 ・環境経営レポートの確認 2024年12月 1日
事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付け） ・環境コミュニケーションの窓口 ・その他
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動に参加する

4) 中期環境経営目標

2024年度：2023年9月～2024年8月

	項目 排出係数	単位	2019年 基準年	2023年度 目標 (-2.0%)	2024年度 目標 (-2.5%)	2025年度 目標 (-3.0%)
1	CO2排出量の削減 ※	kg-CO2	117,662	115,309	114,721	114,132
2	電気使用量(事務所)の削減	k Wh	9,032	8,852	8,807	8,761
3	電気使用量(倉庫)の削減	k Wh	1,404	1,376	1,369	1,362
4	ガソリン使用量(事務所)の削減	L	4,615	4,523	4,500	4,477
5	ガソリン使用量(現場)の削減	L	12,123	11,881	11,820	11,759
6	軽油使用量(現場)の削減	L	27,446	26,898	26,760	26,623
7	灯油使用量の削減	L (2020年目標変更)	1,396	1,369	1,362	1,354
8	ガス(LPG)使用量(事務所)の削減	kg	0.5	0.5	0.5	0.5
9	ガス(LPG)使用量(現場)の削減	kg	700	686	683	679
10	水使用量の削減	m ³	108	106	106	105
11	一般廃棄物排出量の削減	kg	2,950	2,891	2,877	2,862
12	産業廃棄物 リサイクル率100%維持	%	100	100	100	100
13	環境に配慮した地域貢献活動 (ロード・クリーンボランティア)	回	2	2	2	2
14	技術力の強化					
	1.2級土木施工管理技士	人	—	1	1	1
	1.2級舗装施工管理技術者	人	1	1	1	1

注※九州電力 2018年度調整後排出係数を使用(0.347kg-CO2/ k Wh)

5) 環境経営目標と実績 2024年度

2024年度：2023年9月～2024年8月

目標÷実績

区分	項目 排出係数	単位	2019年度 実績・基準	2024年度 目標 (-2.5%)	2024年度 実績	目標達成率
1	CO2排出量の削減 ※	kg-CO2	117,662	114,721	104,572	110% ○
2	電気使用量(事務所)の削減	kWh	9,032	8,807	8,756	101% ○
3	電気使用量(倉庫)の削減	kWh	1,404	1,369	1,628	84% ×
4	ガソリン使用量(事務所)の削減	L	4,615	4,500	2,252	200% ○
5	ガソリン使用量(現場)の削減	L	12,123	11,820	8,750	135% ○
6	軽油使用量(現場)の削減	L	27,446	26,760	27,520	97% △
7	灯油使用量の削減	L	1,396 (2020年目標変更)	1,362	518	263% ○
8	ガス(LPG)使用量(事務所)の削減	kg	0.5	0.5	0.3	167% ○
9	ガス(LPG)使用量(現場)の削減	kg	700	683	1,050	65% ×
10	水使用量の削減	m³	108	106	85	125% ○
11	一般廃棄物排出量の削減	kg	2,950	2,877	2,214	130% ○
12	産業廃棄物 リサイクル率100%維持	%	100	100	100	100% ○
13	環境に配慮した地域貢献活動 (ロード・クリーンボランティア)	回	2	2	2	100% ○
14	技術力の強化	人	—	1	土木2級1	○
	1.2級土木施工管理技士 1.2級舗装施工管理技術者	人	1	1		×

達成状況 ○ = 100%以上 △ = 99%～85% × = 85%未満(是正処置)

注※九州電力2018年度調整後排出係数を使用 (0.347kg-CO2/kWh)

6) 環境経営計画と実施状況

○ = できている △ = ある程度出来ている × = 出来ていない

目標	具体的活動	担当	実施状況
電気使用量の削減	(1) 不要時、不在時、昼休憩時の消灯 (2) 終業時での電子機器のコンセントの抜取り (3) 間引き照明の実施 (4) 夏季はエアコンと扇風機を併用し、冬季はストーブ使用とする	総務部	○ ○ ○ ○
ガソリン・軽油 ・ガスの 使用量の削減	(1) ふんわりアクセル「eスタート」 (2) 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転 (3) 減速時は早めにアクセルを離す。 (4) エアコンの使用は適切に (5) 無駄なアイドリングをやめる (6) タイヤの空気圧から始める点検・整備 (7) 不要な荷物は降ろす (8) 重機の定期点検、施工開始時点検 (9) 低騒音、低振動、排気ガス対策重機の使用	(事務所) 営業部 (現場) 工事部	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
灯油の使用量 の削減	(1) 仕事終業15分前に停止 (2) 給湯器、ストーブは必要時以外点火しない (3) 重ね着など服装の工夫 ウォームビズ	総務部	△ ○ ○
水使用量の削減	(1) 節水表示を続ける (2) 現場で行う散水用の水は排水路や川の水を使用する (3) 重機は汚れを落としてから洗機する	(事務所) 総務部 (現場) 工事部	○ ○ ○ ○
一般廃棄物 排出量の削減	(1) コピー用紙の裏紙使用及び使用済み封筒の再利用 (2) 資源ごみの分別、リサイクルの実施 (3) パソコンはプレビューを使用し、ミスコピーの防止に努める	総務部	○ △ △
産業廃棄物の リサイクル率 100%維持	(1) 多量排出事業者産業廃棄物処理計画書等の提出（年1回） (2) 再生処理業者へ自社運搬、又は運搬委託 (3) 現場ごとの産廃契約、マニフェスト伝票の作成及び管理	総務部 工事部	○ ○ ○
環境に配慮した 地域貢献活動	(1) ロードボランティア（年2回の実施） (2) 地域の要請ボランティアへの参加	営業部	○ ○
技術力の強化	(1) 研修受講11月、2月、3月、4月、7月、9月 (2) 土木受験 2級学科、実地10月・1級学科7月、実地10月 (3) 舗装受験 2級、1級 6月 (4) 無人航空機操縦技能の受講、受験4月～8月	総務部	○ ○ ○ ○

7) 実績の評価と次年度の取組

電気使用量の削減

評価 (1) 今期より週休2日となったのでその分、事務所で電気の使用量は減量する事が出来た。

(2) 夏季も昨年同様にエアコンと扇風機を併用した。

(3) 倉庫に夜間作業の為外灯を付け作業量が増えたので、倉庫の電気の使用量が増えてしまった。

次年度の取組

《1》 今後、より節電する為上記の徹底と確認に努める。

ガソリン(事務所・現場) 及び現場での軽油・ガス使用量の削減

評価(1) 事務所及び現場のガソリンの使用量は目標に達成することが出来た。

(2) 現場の軽油とガスの使用量は目標達成することが出来なかった。特にガスの使用量は小規模工事が増えたため。

次年度の取組

《1》 エコドライブを引き続き実施する。

《2》 タイヤの空気圧チェックを会議にて周知徹底する。

《3》 車両入替時は低燃費車を購入する。

灯油の使用量の削減

評価(1) 目標に達成した。

次年度の取組

《1》 継続して計画の具体的活動をおこなう。

水使用量の削減

評価(1) 目標に達成した。

次年度の取組

《1》 計画の具体的活動を継続して実施する。

《2》 給水中は溢れないように持ち場を離れないよう周知する。

一般廃棄物の削減

評価(1) 目標に達成することが出来た。

次年度の取組

《1》 計画の具体的活動を継続して実施する。

産業廃棄物のリサイクル率100%維持

評価(1) 工事で発生したC O 魂、A S 魂は100%リサイクルし、多量排出事業者計画書も作成し提出出来た。

(2) 現場毎の産廃契約、マニフェスト伝票の作成と管理を行った。

次年度の取組

《1》 引き続き実施する。

環境に配慮した地域貢献活動

評価(1) ロードボランティア及び地域貢献活動は積極的に参加した。

次年度の取組

《1》 工事現場でも工事目的、地域性を常に考慮し、貢献活動を行う。

技術力の強化

評価(1) 講習会、研修会に積極的に参加した。

今年は無人航空機操縦者技能者の資格も2人挑戦し、2人共合格した。

次年度の取組

《1》 今期同様、希望者には積極的にその機会及び、資金を提供する。

8) 環境関連法規等の遵守状況確認及び違反・訴訟の有無

	遵守評価	2024年11月18日	環境管理責任者：小桝秀史
法規の名称	該当する活動内容		遵守状況
廃棄物処理法	・多量排出事業者産業廃棄物処理計画書等の提出 毎年6月30日迄		○
	・収集運搬業者・処分業者との委託契約（契約書の作成）		○
	・マニフェスト伝票の交付・保管(5年間)		○
	・交付状況等報告・元請責任の明確化(法21条)		○
再生資源利用省令 指定副産物利用 促進省令	・指定副産物の利用と利用量の把握		○
建設リサイクル法	・マニフェストの交付・保管(5年間)		○
	・対象工事(500万円以上)の届出(法13条第4条)		○
家電リサイクル法	・小売店等への引渡し方法の確認（有償）		○
	・自治体指定の方法の確認		無し
リサイクル法	・パソコン廃棄時の適正処理 (メーカーへ返却する)		○
自動車リサイクル法	・自動車廃棄時の適正処理		○
オフロード法	・基準適合車両の確認（証明書の確認） (協力会社も含む)		○
フロン排出抑制法	・第1種特定製品(エアコン)→簡易点検(3ヶ月に1回)目視チェック 室外機(異常振動、異常音、キズの有無等) 室内機(異常音・冷え・温まり、霜付き、油のにじみ等)		○
騒音規制法	・特定建設作業の届出(開始7日前まで)		無し
振動規制法	・規制基準の遵守		○
浄化槽法	・定期点検、定期清掃、法定検査の実施		○

その結果 法規の違反・訴訟はありませんでした。

また、関係機関からの違反の指摘・訴訟もありませんでした。

9) 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

代表者	環境管理責任者
吉田卓也	小樹秀史

1. 評価及び見直しに必要な情報（環境管理責任者）

記録日

2024年

11 月 25 日

環境経営目標の達成状況・ 環境経営計画の実施状況	環境経営目標	環境経営目標 の達成状況	環境経営計画 の実施状況	コメント、次年度取組み
	二酸化炭素排出量の削減	○	○	今期同様継続して排出量の削減に一層努める。
	電気使用量の削減	△	○	不要時、不在時、昼休憩時の消灯の徹底
	軽油・ガス(現場)・ ガソリンの 使用量 の削減	△	○	ガソリンは事務所、現場共達成。現場の軽油、ガスは小規模工事が多かったので未達成。次年もエコドライブの励行。
	灯油の使用量の削減	○	○	目的達成。次年度も継続して実施する
	水使用量の削減	○	○	目標達成。次年度も継続して実施する。
	一般廃棄物排出量の削減	○	○	分別の徹底、コピー用紙裏面の活用等排出量の削減に務める
	産業廃棄物のリサイクル率100%維持	○	○	完全リサイクルの実施100%
	環境に配慮した地域 貢献活動	○	○	工事現場での清掃、ボランティア活動の継続
	技術力の強化	○	○	研修受講や受験を継続して取組み、合格を目指す
	環境関連法規等の遵守のチェック 結果	環境法規等の違反はなし。安全パトロール等を行い継続して遵守する。		
外部からの苦情等の受付結果	バックホーでの作業中に外灯の架空配線を切断・・・配線の取替を完了。			
前回の代表者の指示事項とその 取組結果	前年同様、研修会・講習会に積極的に参加し受験に取り組み、本人の努力もあり2級土木に1人 合格。次年も更に合格を目指していく。			
その他（前回の審査での指摘事項の改善結果と改善への提案）	社員の健康と安全を第一に考慮しながら改善する事とした。			

2. 評価及び変更の必要性と指示（代表者）

記録日

2024年

11月 28日

環境経営システムが有効に機能しているか	社員各自が自覚を持って行動するようになり、成果として少しずつではあるが出ていると思う。
環境への取組は適切に実施されているか	環境への取組を初めてその一環として、宇城市にある工業高校で舗装の実施学習の実演を行う予定だったがコロナ発生の為中止になった。令和7年の4月か5月に延期となる。
環境経営方針 変更の必要性（○有 ●無）	現在の経営方針を継続する
環境経営目標・環境経営計画 変更の必要性（○有 ●無）	1.工事現場では工事目的、地域性を常に考慮し貢献活動を行う。 2.自然災害等が起こった場合は積極的に支援等の参加をする 3.苦情、クレーム等の発生した後の処理の検討と対策の改善 4.現場での資材・機械等の仮置場を賃貸しているのを買い上げる方向に計画する。
実施体制 変更の必要性（○有 ●無）	現在の実施体制を継続する
総 評	特に問題点とする事はなく引き続き継続して実施する。

10) 環境教育実施状況



環境教育実施
令和6年1月22日
安全教育



環境教育実施
令和6年6月10日
緊急事態訓練
・事務所炊事場
・消火活動



環境教育実施
令和6年7月22日
一般教育
専門教育

11) 環境活動取組状況



・節水の呼びかけ



・ペットボトルの洗浄分別作業



(通 期)



・ロードクリーンボランティア

令和5年10月13日



・ロードクリーンボランティア

令和6年8月9日

(国道266号線曲野跨道橋下～道德山公園入り口前約1000m)



・熊本県道路舗装協会にて
ボランティア活動に参加

令和6年8月9日

当社から3名参加

(県道八代鏡宇土線、宇土市松原町地区の歩道の除草・堆積土の除去作業)

感謝状

宇城舗装

株式会社様

貴社は熊本県動物愛護センター「アニマルフレンズ熊本」の建設工事にあたり多大なご貢献をいただきましたのでここに深く感謝の意を表します

令和六年三月二十六日

熊本県知事

浦辺 郁夫



表彰状

舗装工事 技術部門

宇城舗装株式会社

小桝 秀史 殿

あなたは優れた技術と熱意をもって数多くの舗装工事を完成されましたその功績は他の者の模範であると認め記念品を授与し茲に表彰するとともに今後ともなお一層の技術の研鑽に努められるよう期待します

令和六年五月十日

一般社団法人熊本県道路舗装協会

会長 岩本 敏則



表彰状

宇城舗装株式会社

工事部長 西山晋也 殿

あなたは永年の間所属会社に
勤続されその職責を通じて社業の
発展に寄与された功績はまことに
顕著であります
ここに表彰します

令和六年五月二十一日

一般社団法人熊本県建設業協会

会長 土井 建

表彰状

宇城舗装株式会社

西山晋也 様

あなたは右事業所に平成十五年
から今日まで二十年の永きに
わたり業務によく精励されその
勤務態度は他の模範とするところで
ありますのでこれを表彰します

令和六年五月二十二日

熊本県商工会連合会

会長 笠 愛一郎